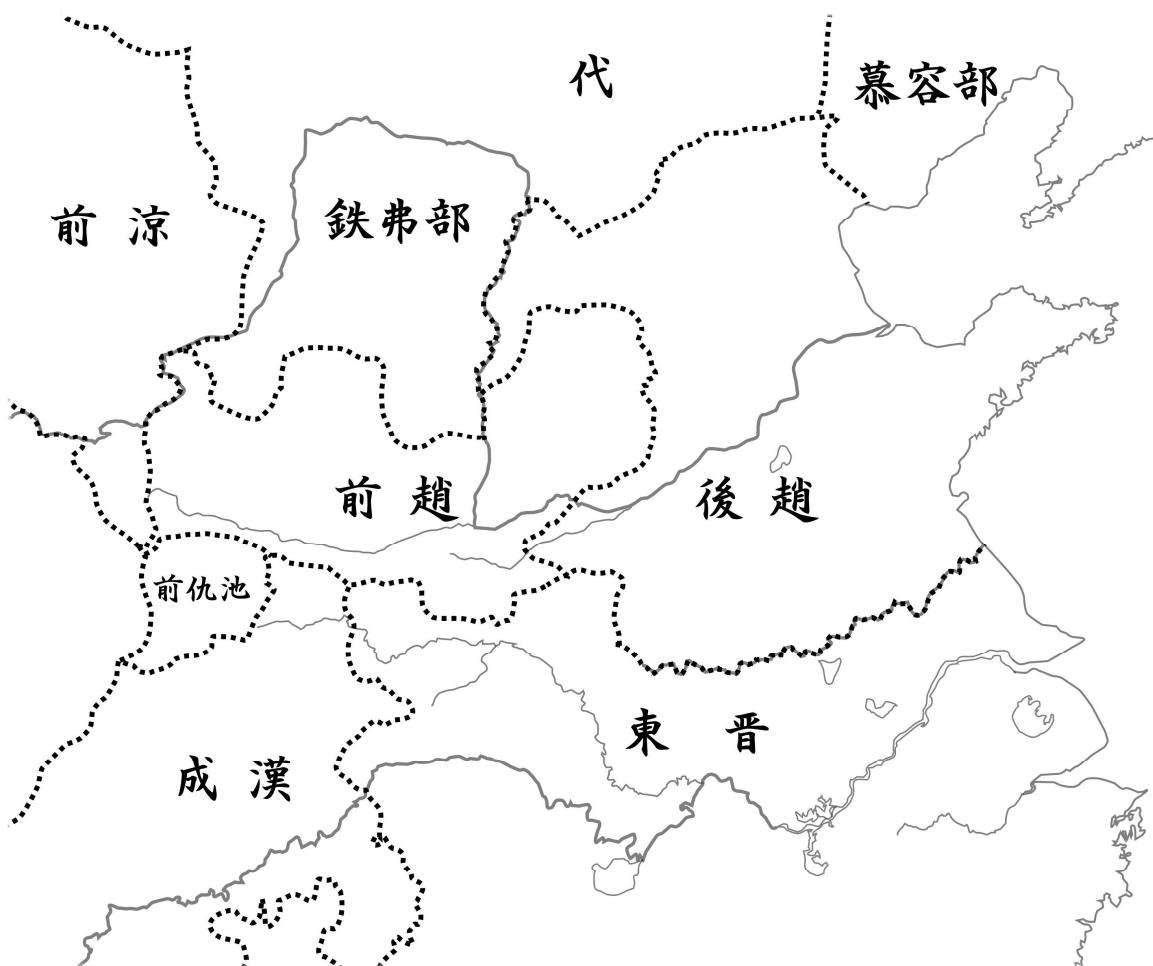


五胡十六国時代 勢力地図集



歴史の宮殿
(ヒストリスト)

はじめに

五胡十六国時代。

中国史に興味がある人や、学生時代、世界史を勉強した人は、聞いたことがある時代名ではないかと思います。かの有名な「三国志」の時代を統一した司馬氏の晋朝が、内乱で乱れたときから五胡十六国時代ははじまります。

中国史の中でも屈指の乱世の時代で、乱世であるからこそ、多くの英雄や猛将・智将たちが活躍し、魅力的な物語やエピソードがたくさんある時代なのではないかと思い、何年か前から五胡十六国時代のことを調べてみようと思いました。

実際調べてみると、想像していた以上におもしろい時代であったのですが、「五胡十六国」という名前のとおり、登場する国や民族が多くてわけがわからない、という状況にすぐ陥りました。

とくに、時代の流れとともにどのように各國の勢力が変遷していくのかという部分は、五胡十六国時代を調べ始めた頃は、勢力地図自体がネット上にもほとんどなく調べることすら困難な状態でした。

ここ最近は、ネット上にもいくつか勢力地図が出るようになってきましたが、ピンポイントで欲しい時期の地図がなかったり、各国の勢力と主要都市の位置や河川の位置の関係がわかりにくかったりで満足いかない状態は続いていました。

そこで、「**自分が欲しい地図がなければ作ればいいじゃん。**」と思いつき、自分の歴史ブログ（「歴史の宮殿」<https://histomiyain.com/>）に入れるためにちょっとずつ勢力地図を作るようになりました。

その作りためた五胡十六国時代の勢力地図が、ある程度の数になってきましたので、このたびそれをまとめた同人誌を作ってみました。

構成としては、五胡十六国時代を区切りやすい3つの期に分けて、期ごとに勢力の変遷がわかる年をピックアップして時代の古い順に並べて地図ページにしています。

また、各地図ごとに、その勢力地図に至るまでの簡単な時代の流れを説明文として載せていますので、一緒に読んでみてください。

なにぶん研究者でも専門家でもない、五胡十六国時代好きの一般人が作ったものです。誤っている部分や、突っ込みを入れたくなる部分もたくさんあるかと思いますが、そのあたりはイメージ図を眺めるくらいの軽めの気持ちで見ていただければ幸いです。

なお、五胡十六国時代の各国が称していた実際の国名は、単純に「趙」「燕」「晋」などなのですが、地図内では「前趙」「後燕」「東晋」などの、「前後」「東西南北」がついた慣用国名で表記しています。

また、都市名に関しては、県名をそのまま表記した場合もあれば、郡の郡治となっている県を郡名で表している場合もあります。県名をそのまま表記すると聞いたこともない都市名になってしまふときは、著者の独断と偏見で郡名で表記しています。

目次

五胡十六国時代 勢力表	1
序 五胡十六国時代前夜	
290年 晋の天下	3
300年頃 胡族の分布図	4
第一期 永嘉の乱～後趙の崩壊(304年～351年)	
306年 五胡十六国時代の幕開け	6
308年 漢の侵攻	7
316年 西晋の滅亡	8
324年 前趙と後趙の抗争	9
329年 後趙の霸権	10
337年 石勒死後の後趙と、前燕の建国	11
349年 後趙の各地への対外戦争と国内の混乱	12
第二期 前燕と前秦の台頭～淝水の戦い(352年～383年)	
352年 後趙滅亡後の華北の分裂	14
357年 前燕と前秦の勢力拡大	15
366年 前燕、前秦、東晋の三国鼎立	16
370年 前燕の滅亡	17
376年 前秦の華北統一	18
383年 「淝水の戦い」	19
第三期 前秦の崩壊～北魏の華北統一(383年～439年)	
383年～385年 「淝水の戦い」後の前秦の崩壊と、各勢力の自立	21
385年 前秦崩壊後の群雄割拠	22
390年 苻堅の死と、後秦、後燕の勢力拡大	23
394年 慕容垂無双	24
396年 「参合陂の戦い」と、北魏の南侵	25
399年 北魏の中原支配と、燕の分裂	26
407年 後秦の河南侵攻と、河西エリアの分裂	27
410年 西秦の復活と、涼国家の抗争	28
415年 夏・赫連勃勃の勢力拡大と、南涼の滅亡	29
417年 東晋・劉裕の北伐と、後秦の滅亡	30
418年 夏の関中強奪	31
423年 宋の建国と、北涼の河西回廊統一	32
429年 北魏の華北西部への侵攻	33
436年 北魏の大攻勢	34
439年 北涼の滅亡と、北魏の華北統一(五胡十六国時代の終焉)	35
おわりに・参考文献	36

五胡十六国時代 勢力表

十六国に認定されている国

	国名	創始者	存続期間	主な支配民族	勢力が領有した主なエリア
1	前涼	張軌	301年 - 376年	漢族	河西回廊
2	前趙(漢)	劉淵	304年 - 329年	匈奴	山西～閔中
3	成漢	李特	304年 - 347年	巴賈(氐)	巴蜀
4	後趙	石勒	319年 - 351年	羯	河北→華北全域
5	前燕	慕容皝	337年 - 370年	鮮卑	遼東・遼西→華北東部
6	前秦	苻健	351年 - 394年	氐	閔中→華北西部→華北全域
7	後燕	慕容垂	384年 - 409年	鮮卑	河北→華北東部
8	後秦	姚萇	384年 - 417年	羌	閔中→華北西部(一時河南と淮北も含む)
9	西秦	乞伏國仁	385年-400年、409年-431年	鮮卑	隴西
10	後涼	呂光	386年 - 403年	氐	河西回廊
11	南涼	禿髮烏孤	397年 - 414年	鮮卑	湟水流域(一時姑臧周辺も領有)
12	北涼	沮渠蒙遜※	397年 - 439年	盧水胡(匈奴)	河西回廊
13	南燕	慕容德	398年 - 410年	鮮卑	山東
14	西涼	李暠	400年 - 421年	漢族	河西回廊西部
15	夏	赫連勃勃	407年 - 431年	匈奴	オルドス～閔中
16	北燕	馮跋※	407年 - 436年	高句麗→漢族	遼西

十六国に入っていない国

	国名	創始者	存続期間	主な支配民族	勢力が領有した主なエリア
17	前仇池	楊茂搜	296年 - 371年	氐	仇池
18	後仇池	楊定	385年 - 442年	氐	仇池
19	代	拓跋猗盧	315年 - 376年	鮮卑	盛樂周辺～代郡
20	北魏	拓跋珪	386年 - 534年	鮮卑	盛樂周辺→華北東部→華北全域
21	冉魏	冉閔	350年 - 352年	漢族	河北
22	西燕	慕容泓	384年 - 394年	鮮卑	閔中→山西
23	翟魏	翟遼	388年 - 392年	丁零	滑台周辺
24	後蜀(譙蜀)	譙縱	405年 - 413年	漢族	蜀

※北涼は沮渠蒙遜に推され段業が建国して、沮渠蒙遜に篡奪される。

※北燕は馮跋に推され慕容雲(高雲)が建国して、高雲死後、馮跋が君主になる。

- 北魏は、代王・拓跋什翼犍の孫の拓跋珪が代王の地位に即いたあと、魏王に改称したときが建国となる

序 五胡十六国時代前夜

290年 晋の天下



五胡十六国時代以前の歴史の流れをみると、下記のようになる。

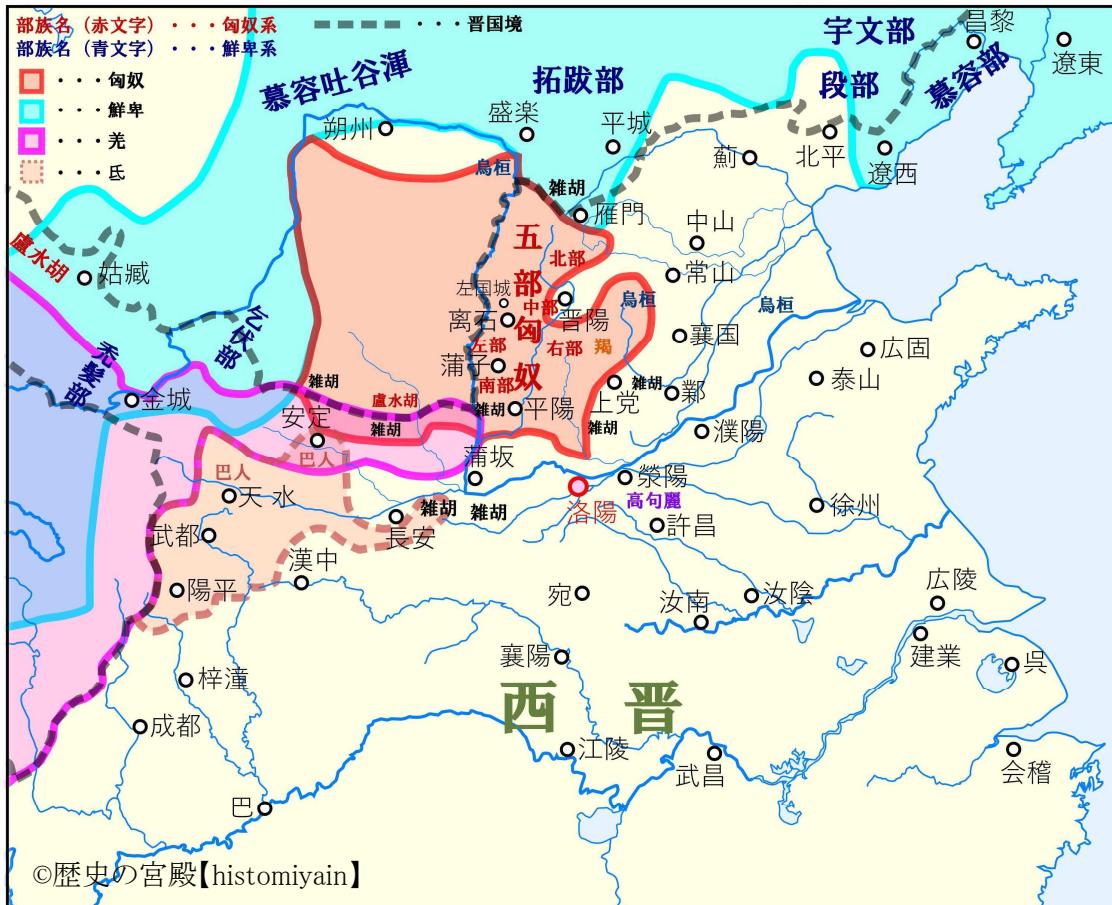
- 220年 後漢が滅び、魏・呉・蜀漢の三国時代がはじまる。
- 263年 壓漢が魏に滅ぼされる。
- 265年 司馬懿仲達の孫、司馬炎が魏より受禅し、晋朝が成立する。
- 280年 晋は呉を滅ぼし、天下統一。
- 290年 司馬炎死去する。

このあと、291年から、晋滅亡のきっかけとなる八王の乱がはじまり、晋は滅亡への道を進んでいく。

※次ページより以降の地図では「晋」を「西晋」「東晋」と表記する。

序 五胡十六国時代前夜

300年頃 胡族の分布図



五胡十六国時代は、中国周辺の胡族が一気に侵入して来たイメージがあるが、実際はすでに後漢の頃から、匈奴をはじめとする様々な少数民族が中国内地に移住・定着するようになっていた。

匈奴は山西エリア・オルドスエリアなどに、羌族は関中・隴西・北地エリアなどに、氐族は関中・隴西・武都・陰平などに、移住・定住を繰り返しながら中国内地の勢力に従属や反抗をしていた。

ただし、鮮卑の慕容部や拓跋部は、塞外で勢力を大きくし、中国内地に侵攻してくるパターンになる。

第一期
永嘉の乱～後趙の崩壊
(304年～351年)

第一期 永嘉の乱～後趙の崩壊(304年～351年)

306年 五胡十六国時代の幕開け



301年3月以降、八王の乱の争いが、軍対軍の戦争状態に発展する。

八王の一人、成都王・司馬穎は、304年本拠地の鄴を攻められたときに、配下にいた匈奴の劉淵から、匈奴を兵力として用いることを提案され許可した。劉淵は山西エリアの左国城に戻り、匈奴を率いて離石を本拠として自立をしてしまう。これが漢（のちの前趙）の始まりになる。

同時期、巴蜀エリアでは、関中から流れてきた流民たちをまとめていた氐族の李雄が成都王を称し、成漢（建国当時は「成」と称しているが、この地図集では「成漢」で統一する。）が成立。

河西回廊では、漢人の張軌が301年に護羌校尉・涼州刺史となり、姑臧に就任。あくまで晋の配下としての立場を貫くが実質は反独立状態であった。

漢は306年までに并州中部を制圧し、晋と対立していく

実は、296年、楊茂搜が仇池の地で自立している（前仇池の成立）

歴史の宮殿

第一期 永嘉の乱～後趙の崩壊(304年～351年)

308年 漢の侵攻



山西エリアで自立した漢（のちの前趙）は、并州、河東郡などに勢力を伸ばす。同時期に石勒や王弥なども漢に加入し、石勒を中心にして河北エリアにも侵攻していく。308年、君主・劉淵は蒲子で皇帝に即位する。

この時期は、まだ晋の軍事力も強く、漢も一気呵成に侵攻していくことはできず、勝ったり負けたりの状況が繰り返される。

巴蜀の成漢も、晋の益州刺史・羅尚との激しい戦いが続いている。君主・李雄は306年に皇帝に即位する。

316年 西晋の滅亡



漢は309年に晋の国都・洛陽への攻撃を開始するが、310年に君主・劉淵が死去し、その後のクーデターの末、劉聰が即位。その後、311年に洛陽を陥落させ、316年に長安に拠っていた晋を滅亡させる。

晋は、皇族の司馬睿が317年に江南で政権を樹立する（東晋の成立）。

河北エリアでは石勒が立場上は漢の部将ながら、実質自立した状況で勢力を伸ばしている状況。

成漢は、敵対していた羅尚の死（310年）により、李雄のもと、巴蜀支配を確立していく。

前涼は、314年に張軌が死去し張寔が跡を継ぐ。相変わらず、晋の臣としての立場を継続しつつ半独立状態。

遼東では鮮卑慕容部の慕容廆がじわじわ力をつけている。

324年 前趙と後趙の抗争



漢は318年に劉聰が死去しその後の内乱の末、劉曜が即位する。319年長安に都を遷し、国号も「趙」に変更する（前趙）。

そのあいだ、名目上は漢の将軍として河北で勢力を拡大していた石勒は、319年11月自立し「後趙」が成立する。後趙は河南、山東へ勢力を拡大していく、東晋とやり合う。また、324年以降は河南方面への進出を目指す前趙との抗争が激しくなる。

この時期、鮮卑慕容部は、遼東・遼西の支配を進めていく。

329年 後趙の霸権



324年以降、後趙と前趙の抗争は続き、328年には洛陽周辺での両国の全面戦争になる。

この結果、前趙君主・劉曜は捕らえられ後趙が勝利する。

その後、後趙の将軍・石虎が前趙へ侵攻し、長安から西へ逃げた前趙の太子を殺害し、329年前趙は滅亡する。

これにより、後趙は華北の霸者となる。

第一期 永嘉の乱～後趙の崩壊(304年～351年)

337年 石勒死後の後趙と、前燕の建国



333年、後趙君主・石勒が死去し、石弘が跡を継ぐが、石虎により篡奪される。

335年石虎は鄴に遷都し337年大趙天王に即位する。

慕容部では、333年に慕容廆が死去、慕容皝が跡を継ぐが、一族の内乱が起こる。336年に内乱は平定され、337年慕容皝は燕王に即位し、前燕が成立する。

前涼は、君主・張駿が外交を駆使し国力を充実し最盛期を迎えようとしている。

成漢は、334年に李雄が死去、継承者争いが起こり、以後衰えていく。

第一期 永嘉の乱～後趙の崩壊(304年～351年)

349年 後趙の各地への対外戦争と国内の混乱



後趙は石虎のもと、対外戦争を行っていく。338年に東北の前燕へ侵攻し、西方では、343年と347年に前涼へ侵攻する。南方でも淮水を超えて東晋への攻撃を行う。

前燕は338年の後趙からの攻撃を撃退し、342年に東の高句麗に侵攻し服属させる。また、長年争っていた段部、宇文部、扶余の周辺勢力を滅ぼさせ遼東・遼西エリアの支配を確定させる。348年に慕容皝が死去し慕容儁が跡を継ぎ、この後前燕の中原進出が始まっていく。

南方では、347年に東晋の桓温が成漢への侵攻を行い、これにより成漢は滅亡、巴蜀は東晋が支配することになる。

第二期
前燕と前秦の台頭
～淝水の戦い
(352年～383年)

第二期 前燕と前秦の台頭～淝水の戦い(352年～383年)

352年 後趙滅亡後の華北の分裂



華北の霸権を握った後趙だったが、349年4月君主・石虎が死去し、石虎在世中から表面化していた石虎の息子同士の争いが激しくなっていく。

その後、石虎の養子の石閔（冉閔）が後趙の実権を握り、ますます後趙内の権力争いは激しくなっていく。石閔（冉閔）は350年2月に冉魏を建国、後趙内は諸勢力が割拠する状態となり、351年4月に後趙は滅亡する。

後趙に帰順していた氐族は、後趙滅亡時の「華北大乱」の状況の中、苻健が勢力を率いて関中へ侵攻し、351年前秦を建国。

前燕は後趙の内乱のすきを突き、350年に中原侵攻を開始、幽州、冀州を勢力下に加えていく。

山東エリアでは、後趙に帰順していた鮮卑段部の段龜が、後趙国内が混乱している間に広固で割拠する（段賈）。

また張遇や張平などの後趙の残党も河南、山西などで割拠する。

第二期 前燕と前秦の台頭～淝水の戦い(352年～383年)

357年 前燕と前秦の勢力拡大



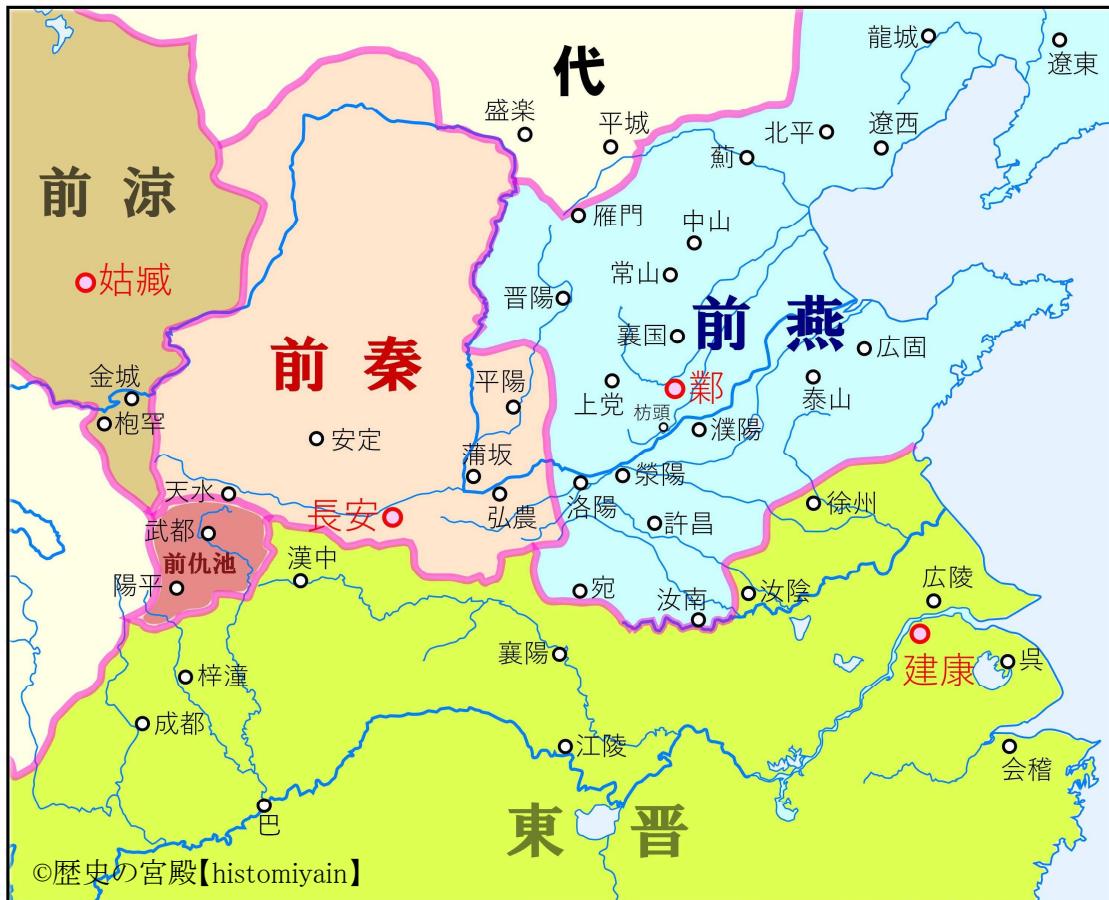
前燕は、352年4月に冉閔を破り、鄆も獲得する（冉魏の滅亡）。前燕君主・慕容儁は皇帝に即位し、その後、弟の慕容恪を中心に、後趙の残党や山東の段齊を破り、前燕は357年に鄆へ遷都する。

前秦は、354年東晋・桓温の北伐を受けるが、苻雄（苻堅の父）の活躍で東晋軍を撃退することに成功する。355年に君主の苻健は死去し、苻生が跡を継ぐが残虐な行いが多く、357年苻堅がクーデターを起こし即位する。

東晋は桓温が354年に第一次北伐で関中へ侵攻し、356年には第二次北伐を行い、洛陽を奪還することに成功する。

第二期 前燕と前秦の台頭～淝水の戦い(352年～383年)

366年 前燕、前秦、東晋の三国鼎立



前燕は、360年に慕容儁が死去、慕容暐が跡を継ぐ。引き続き慕容恪を司令官に南への侵攻を進め、364年に洛陽を獲得し、366年までに淮水の北までを領土に加え、華北東部に霸権を唱える。

前秦も苻堅のもと、王猛を宰相にし、国内の反乱をおさえ、内政を充実させ、366年頃までには華北西部に霸権を唱える。

この時期、南の東晋とあわせ、中国は三国鼎立の構図になる。

一応、河西回廊に前涼がある。
仇池の地に、前仇池もある。

第二期 前燕と前秦の台頭～淝水の戦い(352年～383年)

370年 前燕の滅亡



369年、東晋の桓温が国内での声望を高めるため、第三次北伐の軍を発し、前燕に攻め込む。

前燕は桓温の前に敗退を続け、黄河の北の枋頭まで進出を許してしまう。前燕は慕容恪死後、慕容評が実権を握っていたが、桓温の進撃の前に成すすべがなく、慕容垂に軍の指揮権を預ける。

慕容垂は期待に応え、東晋軍を擊退することに成功。しかし、その後慕容評に疎まれた慕容垂は前秦に亡命してしまう。

前秦はその前燕の様子をみて、370年王猛を司令官に前燕侵攻を試みる。慕容評のもと国内が混乱状態だった前燕はあっさり前秦の前に滅亡。華北東部は前秦の手に入った。

第二期 前燕と前秦の台頭～淝水の戦い(352年～383年)

376年 前秦の華北統一



前秦は、前燕を滅亡させたあと、371年苻雅・楊安・姚萇などを派遣し、ひっそりと生き延びていた前仇池を滅ぼす。

373年に東晋から蜀エリアを獲得する。

375年に王猛が死去するが、376年8月に苟萇、梁熙、姚萇を派遣して前涼を滅ぼし、12月には苻洛、鄧羌を派遣して代を滅ぼし、華北統一を達成する。

第二期 前燕と前秦の台頭～淝水の戦い(352年～383年)

383年 「淝水の戦い」



華北統一を果たした前秦君主・苻堅は、天下統一を目指し、東晋の征服をもくろむ。

378年、襄陽への攻撃を開始し、379年に陥落させる。

東晋は一時広陵近くまで前秦に迫られるが、淮水の線まで押し戻す。

383年前秦は100万と号する南征軍を発し、東晋に侵攻する。

東晋は宰相・謝安のもと、謝安の甥の謝玄などが7万の兵を率いて東晋を迎えた。

11月に寿春近くの淝水で対峙した両軍だったが、作戦の失敗から前秦軍は総崩れになり、苻堅も流れ矢で負傷し撤退するという大敗北を喫する（「淝水の戦い」）。

「淝水の戦い」のあと、五胡十六国時代は新しい局面を迎えることになる。

第三期
前秦の崩壊
～北魏の華北統一
(383年～439年)

第三期 前秦の崩壊～北魏の華北統一(383年～439年)

383年～385年 「淝水の戦い」後の前秦の崩壊と、各勢力の自立



383年「淝水の戦い」で前秦は東晋に敗れ、前秦に帰属していた胡族勢力が自立の動きをはじめる。

慕容垂は、敗走していた苻堅を保護して、安全な場所まで届けたあと、384年1月榮陽で後燕を建国、鄆を目指す。

384年4月姚萇は関中の馬牧で自立、後秦を建国。

384年4月慕容泓が西燕を建国。河東で起兵した慕容沖を吸収。

385年9月隴西の勇士城で乞伏国仁が西秦を建国。

385年西域に遠征していた呂光が戻り姑臧で自立。386年10月に後涼を建国。

385年11月楊定が歷城で後仇池を建国。

苻堅は関中に戻ったあと、西燕と交戦して敗れ、五将山に逃れた後、姚萇に捕らえられ、385年8月殺害される。

東晋も淝水の戦いのあと、失地回復を図り、西では巴蜀を奪還、東でも黄河の南まで領土を押し上げる。

第三期 前秦の崩壊～北魏の華北統一(383年～439年)

385年 前秦崩壊後の群雄割拠



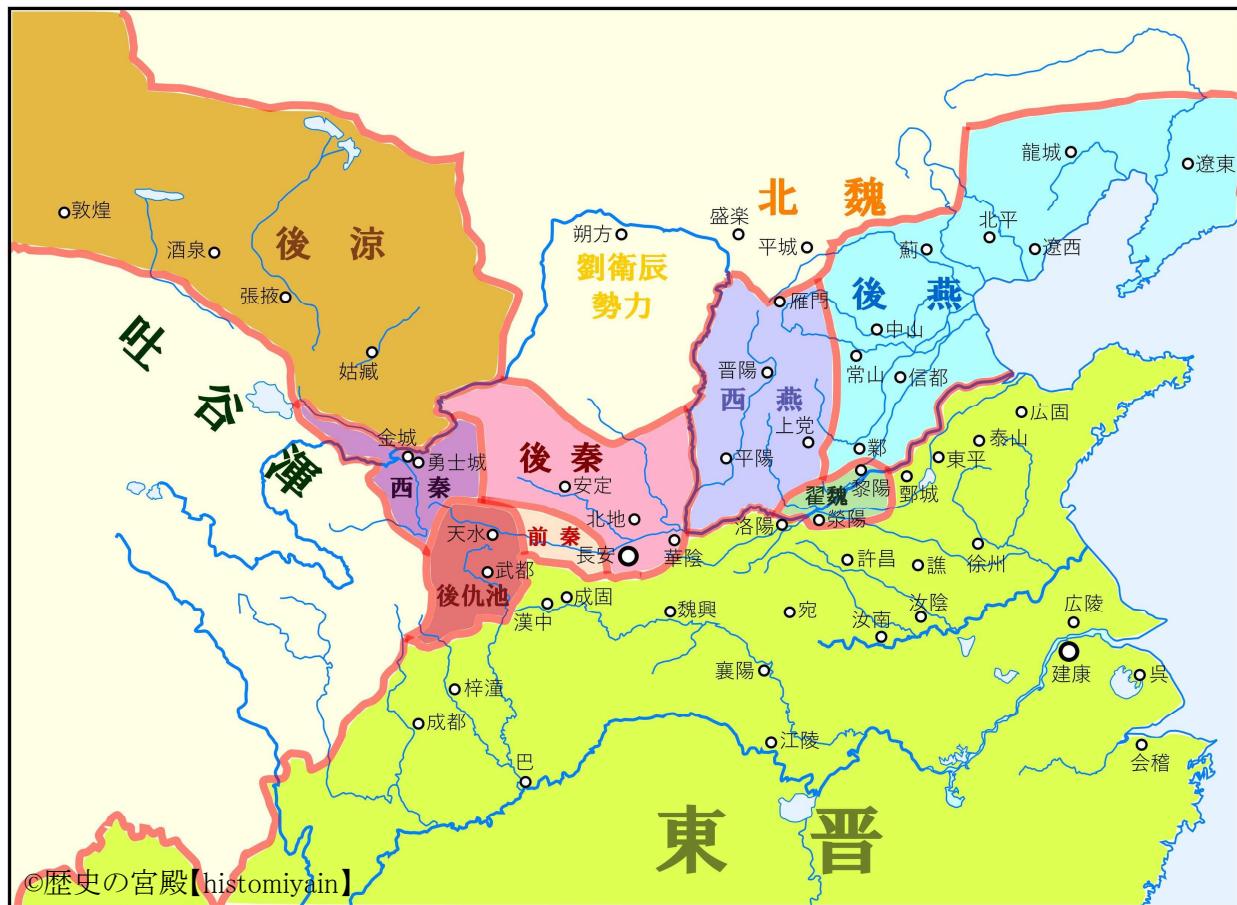
383年の淝水の戦いのあと、自立していった各勢力であったが、

- ・後燕は河北～遼西・遼東を領有する。
- ・苻堅の子の苻丕は、慕容垂の攻撃を受け鄆から逃れ山西エリアに移動する。
- ・西燕は、河東～閔中の長安を領有する。
- ・後秦は、閔中の渭水北部地域を領有する。
- ・前秦は、苻堅死後、晋陽で苻丕が即位。閔中から甘肅東部にも勢力がある状態。
- ・西秦は隴西エリアを領有。
- ・後涼は、呂光が姑臧で自立。
- ・後仇池は仇池を領有。

と、華北は、群雄割拠の状態になる。

第三期 前秦の崩壊～北魏の華北統一(383年～439年)

390年 荷堅の死と、後秦、後燕の勢力拡大



385年の荷堅死後、前秦は、慕容垂の攻撃を受け鄆から西へ逃れていた荷丕が385年8月跡を継ぐ。

荷丕は、386年10月西燕に敗れ、その後東晋から攻撃を受け死亡。その後、386年11月荷登が南安で即位し前秦君主になる。

荷登は、関中の領有を巡り、後秦と激闘を繰り広げる。

西燕は384年6月に君主・慕容泓が殺害され、慕容沖が跡を継ぎ長安を巡り前秦と戦う。慕容沖は東帰を求める部下に386年1月に殺害され、西燕はその後君主が次々と入れ替わる状態になり、その間に山西エリアへ勢力を移す。

後燕は386年慕容垂が中山で皇帝に即位、華北東部の制圧へ進む。

386年拓跋珪が代を復興、4月に魏王を称し、北魏を建国する。

第三期 前秦の崩壊～北魏の華北統一(383年～439年)

394年 慕容垂無双



北魏は、後燕と同盟を結び勢力を伸ばすが391年頃から後燕と対立し始める。

オルドスでは391年匈奴鉄弗部が北魏に敗れ、指導者の劉衛辰の息子・劉勃（赫連勃勃）は後秦に逃れることになる。

後燕の慕容垂は、392年に黄河周辺を領有していた翟魏を滅ぼし、394年に山西を領有していた同族の西燕を滅ぼす。その後山東エリアも東晋から獲得し、後燕は前燕を凌ぐ領土を持つに至る。

関中では、後秦と前秦が争いを続ける。

393年12月に後秦君主・姚萇が病死し、跡を継いた姚興が、394年7月に前秦・苻登を敗死させる。その後跡を継いだ苻崇も394年10月、西秦との戦いで敗死し前秦は滅亡した。

第三期 前秦の崩壊～北魏の華北統一(383年～439年)

396年 「参合陂の戦い」と、 北魏の南侵



後燕と北魏の対立は続き、慕容垂は395年5月太子の慕容宝に10万の兵を率いさせ北魏を攻めさせる。しかし、11月に「参合陂の戦い」で北魏に大敗をしてしまう。

396年に慕容垂自らが北魏を攻め平城を攻め落とすが、その後慕容垂が病没、後燕の衰退がはじまる。

396年9月には北魏の南への侵攻により、山西エリアが北魏の手に墮ちる。

第三期 前秦の崩壊～北魏の華北統一(383年～439年)

399年 北魏の中原本支配と、燕の分裂



396年山西エリアを後燕から奪った北魏は、397年、398年と後燕の河北エリアを征服していき、中原を支配する。

後燕はさらに内乱などで衰退し、遼西の龍城へ遷都する。

後燕の南部では398年慕容德が自立し南燕を建国し、399年山東の広固へ遷る。

後秦は、396年河東エリアを獲得。399年には東晋から洛陽を奪う。

河西エリアでは後涼が西秦を攻めるなどしていたが、397年廉川堡で禿髮烏孤が自立して南涼を建国。同じ年、河西回廊の建康郡で段業が沮渠蒙遜などに推され自立、北涼が建国される。後涼はこれにより分裂衰退していく。

第三期 前秦の崩壊～北魏の華北統一(383年～439年)

407年 後秦の河南侵攻と、河西エリアの分裂



400年後秦の姚碩德が隴西を攻めて、西秦は一時滅亡する。

400年河西回廊では、漢人の李暠が北涼から自立し西涼を建国。

北涼では401年沮渠蒙遜がクーデターを起こし君主になる。

401年には後秦は後涼の姑臧を攻めて、後涼は降伏。後涼、北涼、南涼も後秦に帰属の意思を示す。

402年、北魏と後秦は「柴壁の戦い」で激突し北魏が勝利する。

403年、衰退した後涼は君主が後秦に移住し、後涼は滅亡。

403年、東晋が桓玄に篡奪されると後秦はその隙を突き、淮水の北エリアを獲得する。

405年、東晋の蜀駐屯の軍隊が譙縱を指導者に反乱を起こし自立。後蜀（譙蜀）を建国。

407年、後燕の君主・慕容熙が馮跋に殺害され、慕容雲が擁立され、北燕が建国される。

407年、劉勃勃はオルドスで後秦から自立をし、夏を建国。

第三期 前秦の崩壊～北魏の華北統一(383年～439年)

410年 西秦の復活と、涼国家の抗争



後秦の部将として活動していた乞伏乾帰は後秦が衰退し始めたのを見て、409年度堅山で再度自立。西秦が復活する。

410年8月、苑川に遷都し隴西エリアを獲得する。

北涼と南涼は、400年以降しばしば激突する。西涼と南涼は同盟を結び、北涼を挟み撃ちの状態にする。

北魏では409年10月に拓跋珪（道武帝）が次子に殺害され、その次子を拓跋嗣（明元帝）が殺害し即位する。その後、北の柔然との戦いに力を入れる。

北燕では、高雲と名を変えた慕容雲が、409年に寵臣に殺害され、馮跋がその混乱を収め自らが君主になる。

東晋では桓玄を討った劉裕が実権を握り、410年に南燕を攻めてこれを滅ぼす。

第三期 前秦の崩壊～北魏の華北統一(383年～439年)

415年 夏・赫連勃勃の勢力拡大と、南涼の滅亡



413年、夏の劉勃勃は、赫連勃勃に改名し、新首都・統万城を建設する。

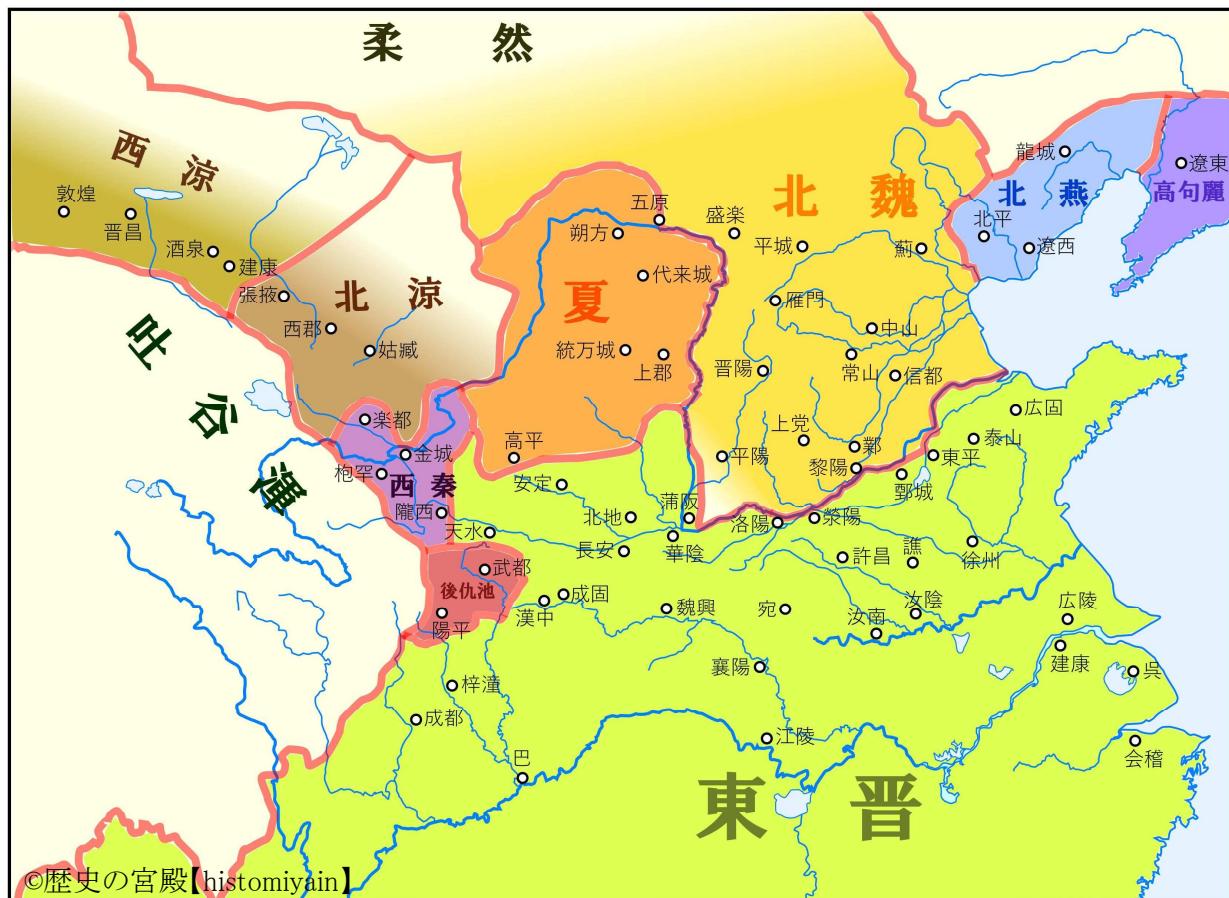
北涼は、411年南涼から姑臧を奪い412年に姑臧に遷都する。北涼はその後も南涼への攻撃を続ける。

南涼は、北涼以外にも、西秦、吐谷渾とも対立し、414年に西秦から攻められ滅亡する。

413年、後蜀（譙蜀）は東晋の討伐軍に成都を落とされ滅亡する。

第三期 前秦の崩壊～北魏の華北統一(383年～439年)

417年 東晋・劉裕の北伐と、後秦の滅亡



後秦は、416年に君主・姚興が死去し姚泓が後を継ぐが、一族の反乱が続く。その隙を突き、北からは夏が攻撃をしかけてきて、南からは劉裕率いる東晋軍が攻めて来る。

417年に東晋軍によって長安が陥落し、後秦は滅亡した。

417年、西涼君主・李暠が死去したので、北涼の沮渠蒙遜が西涼を攻め始める。

北燕は416年以降、北魏から圧力をかけられるようになる。

第三期 前秦の崩壊～北魏の華北統一(383年～439年)

418年 夏の関中強奪



418年、夏の赫連勃勃は、長安に駐屯していた東晋・劉裕の息子の劉義真を破り、関中を獲得する。同年、赫連勃勃は皇帝に即位する。

第三期 前秦の崩壊～北魏の華北統一(383年～439年)

423年 宋の建国と、北涼の河西回廊統一



420年、劉裕が東晋から禅譲を受けて、宋を建国する。

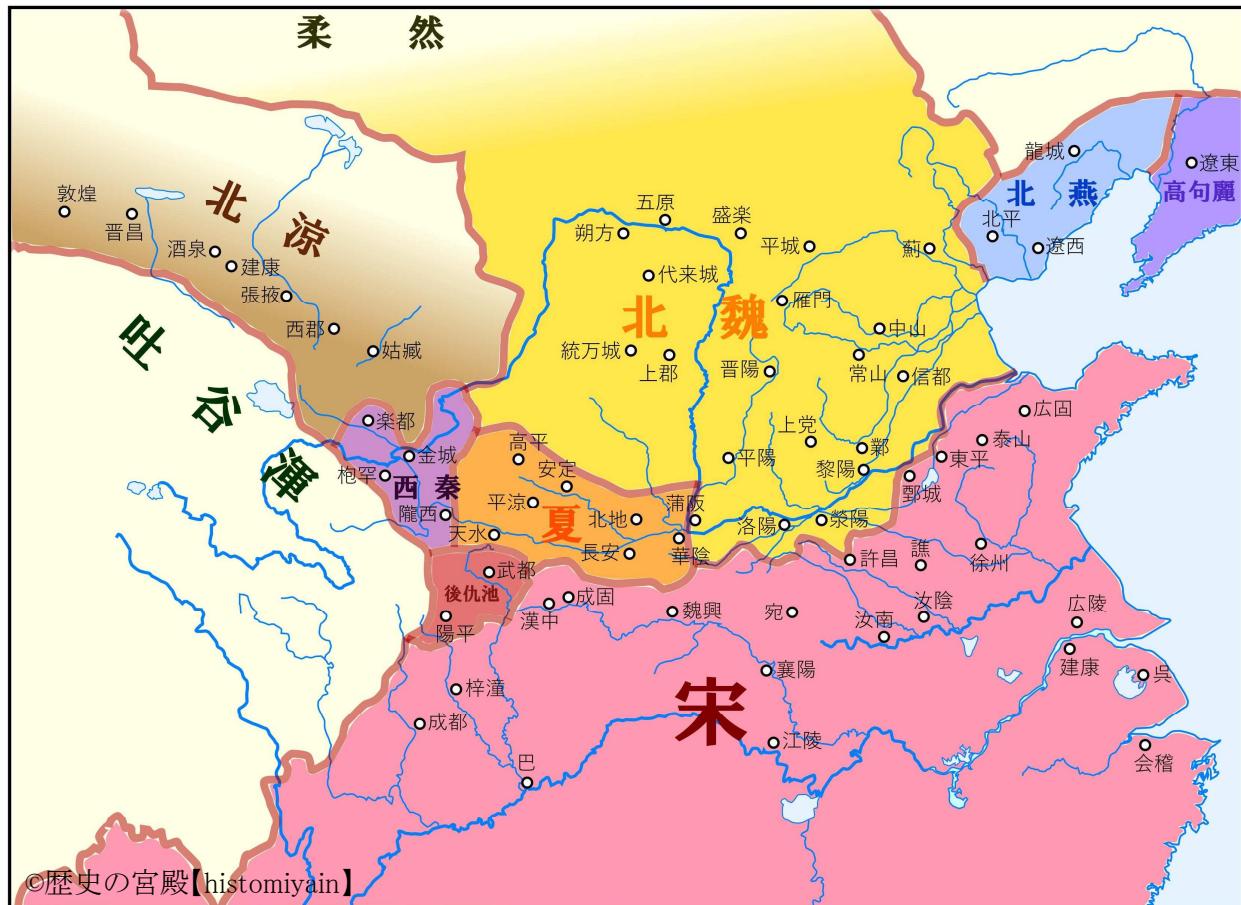
北涼は、420年西涼から酒泉を獲得し、421年に西涼を滅ぼし河西回廊の霸者となる。

その後、北涼は421年以降、西秦との抗争を繰り返していく。

北魏では、423年拓跋嗣（明元帝）が死去し、拓跋燾（太武帝）が即位する。

第三期 前秦の崩壊～北魏の華北統一(383年～439年)

429年 北魏の華北西部への侵攻

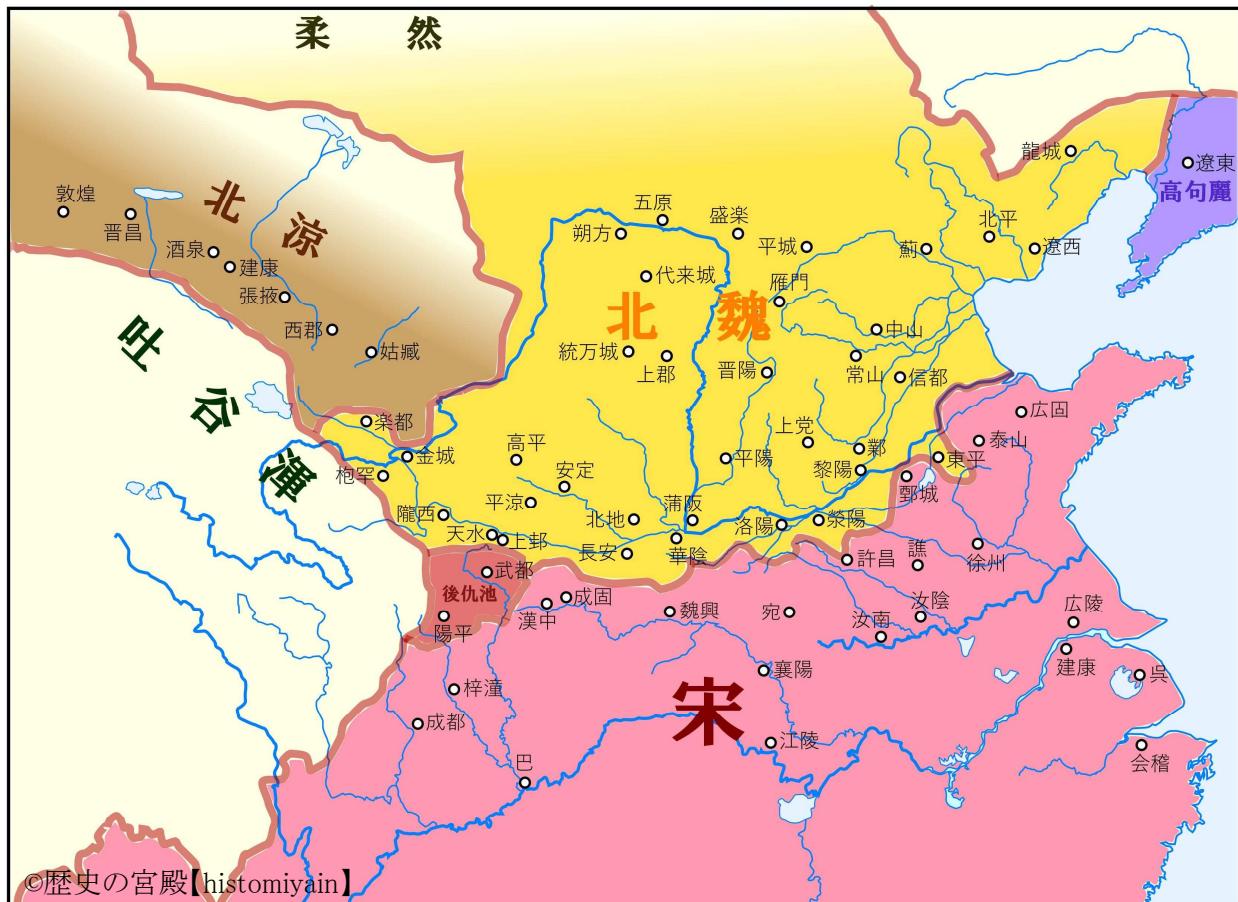


夏は425年に赫連勃勃が死去し赫連昌が後を継ぐ。426年から夏は北魏から攻撃を受け始め、427年には統万城が陥落し、428年に君主・赫連昌は北魏に捕らえられ、赫連定が平涼で跡を継ぐ。

428年、西秦は乞伏熾磐が死去し、息子の乞伏暮末が跡を継ぐ。西秦は北涼から圧力を受けて、429年に定連に遷都する。

第三期 前秦の崩壊～北魏の華北統一(383年～439年)

436年 北魏の大攻勢



430年、夏は北魏から攻撃を受け上邽へ遷る。

431年1月夏は北魏の圧力により西に移動し、その先にあった西秦を滅ぼす。夏の君主・赫連定は6月、さらに西に進み黄河を渡るところを吐谷渾に襲われ捕らえられ夏は滅亡する。

北燕は430年、馮跋が病になり、妾の宋氏が自分の子に跡を継がせようとし、馮跋を幽閉する。馮跋はそのまま死去し、北燕はその後、馮跋の弟の馮弘が宋氏に対し反乱を起こし跡を継ぐ。

北魏は431年の夏制圧のあと、432年以降北燕に対し大攻勢をしけけ、436年に北燕を滅ぼす。

北涼は、北魏に従属する姿勢を見せており、433年に君主・沮渠蒙遜が死去。

第三期 前秦の崩壊～北魏の華北統一(383年～439年)

439年 北涼の滅亡と、北魏の華北統一 (五胡十六国時代の終焉)



北涼は、433年の沮渠蒙遜の死後も北魏への従属の意思を見せていたが、439年北魏は君主・拓跋燾（太武帝）自ら親征を行い、姑臧を攻め落とし、北涼を滅ぼす。

これにより、北魏の華北制覇は完成し、五胡十六国時代は終焉を迎える。南北朝時代がはじまる。

なお、439年時点で、後仇池が残っていることについては、基本誰も気にしていない。

後仇池は442年に北魏に滅ぼされる。

おわりに

五胡十六国時代勢力地図集、最後まで読んでいただきありがとうございました。

地図数としては30図となり、五胡十六国時代のかなりの時期を地図で表せたのではないかと思います。

とは言え、この地図集に入れていない時期の地図もまだまだありますし、もっとわかりやすい見せ方ができたのではないか、何より国境線や都市の位置などの、地図上の情報の正確さがどこまでちゃんとしているのかなど、見直さないといけない部分もたくさんあります。

また、今後五胡十六国時代以外の勢力地図(中国史に限らず)に関しても作ってみたいという気持ちもありますので、今回の反省点も踏まえながら、時間が許す限り今後もこのような歴史地図集を作っていくたいと思います。

この勢力地図集が、五胡十六国時代がおもしろそうだ、調べてみたいな、と思っている歴史好きな方々のちょっとした助けになれば幸いです。

歴史の宮殿(ヒストリスト)

参考文献

三崎良章『五胡十六国、中国史上の民族大移動』【新訂版】(東方書店、2012年10月)

川勝義雄『魏晋南北朝(講談社学術文庫)』(講談社、2003年5月)

『晋書』(中華書局)

『資治通鑑』

『中国歴史地図集 第三冊 三国・西晋時期』(中国地図出版社出版)

『中国歴史地図集 第四冊 東晋十六国・南北朝時期』(中国地図出版社出版)

郭沫若編『中国史稿地図集上冊』(中国地図出版社出版)

五胡十六国時代歴史地図集

発行日 2021年10月17日

発行者 歴史の宮殿(ヒストリスト)

Twitter @histrist1976

ブログ <https://histomiyain.com>

連絡先 histomiyain@gmail.com